

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成 24 年 8 月 16 日 (2012.8.16)

【公表番号】特表 2011-526425 (P2011-526425A)

【公表日】平成 23 年 10 月 6 日 (2011.10.6)

【年通号数】公開・登録公報 2011-040

【出願番号】特願 2011-516777 (P2011-516777)

【国際特許分類】

H 0 1 L 31/042 (2006.01)

E 0 4 D 13/18 (2006.01)

【F I】

H 0 1 L 31/04 R

E 0 4 D 13/18

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 6 月 28 日 (2012.6.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

略平坦な面に非貫通方式で設置される太陽光発電モジュールアセンブリであって、
太陽光発電積層体を含む太陽光発電デバイスと、

前記太陽光発電積層体の外周を囲み、後方フレーム部材を持つ骨組部、前記骨組部から
前記後方フレーム部材を超えて延び、第 1 座部が形成されている第 1 支持アーム、前面及
び後面を持つ偏向部材、ならびに前記フレーム及び前記偏向部材の前記後面のいずれか一
方から延出するクリップを含む、前記太陽光発電積層体に取り着されるフレームと

を有する太陽光発電モジュールを備え、

前記偏向部材が前記第 1 座部内に位置し、前記クリップを通じて前記後方フレーム部材
に取り外し可能に取り付けられる第 1 取り付け状態を提供する太陽光発電モジュールアセ
ンブリ。

【請求項 2】

前記第 1 座部は、前記偏向部材の一部分を摩擦係止する大きさに形成されたスロットを
形成する複数の側壁を含む請求項 1 に記載のアセンブリ。

【請求項 3】

前記第 1 支持アームには、さらに前記偏向部材の一部分を摩擦係止する第 2 座部が形成
されており、前記第 2 座部は、長手方向に前記後方フレーム部材と前記第 1 座部との間に
配置される請求項 1 に記載のアセンブリ。

【請求項 4】

前記偏向部材は、対向する第 1 側面及び第 2 側面と、対向する第 1 端部及び第 2 端部と
を含み、

前記第 1 取り付け状態は、前記第 1 端部の一部分が前記第 1 座部内に位置する状態を含
み、

前記第 2 端部の一部分が前記第 2 座部内に位置し、前記偏向部材が前記クリップを通じ
て前記後方フレーム部材に取り外し可能に取り付けられる第 2 取り付け状態を提供し、

前記後面が、前記第 1 端部から延び前記偏向部材の横断面と第 1 角度をなす第 1 部分と
、前記第 2 端部から延び前記偏向部材の横断面と第 2 角度をなす第 2 部分とを含み、

前記第 1 角度と前記第 2 角度とが異なり、

前記第 1 取り付け状態は、前記第 2 部分が前記後方フレーム部材に隣接する状態を含み

、

前記第 2 取り付け状態は、前記第 1 部分が前記後方フレーム部材に隣接する状態を含み

、

前記第 1 部分及び前記第 2 部分は、前記偏向部材の前記第 1 側面に設けられる請求項 1 から 3 の何れか 1 項に記載のアセンブリ。

【請求項 5】

前記第 1 取り付け状態は、前記第 1 側面の第 1 部分が前記第 1 座部内に配置される状態を含み、

前記第 2 取り付け状態は、前記第 1 側面の第 2 部分が前記第 2 座部内に配置される状態を含む請求 4 に記載のアセンブリ。

【請求項 6】

前記第 1 支持アームは、第 2 の太陽光発電モジュールを取着するのに適した取着領域を形成し、

前記第 1 座部は、長手方向に前記取着領域と前記後方フレーム部材との間に位置する請求項 1 に記載のアセンブリ。

【請求項 7】

前記第 1 支持アームは、平坦な面に設置するための下面を持ち、

前記下面は、前記平坦な面に対して前記太陽光発電積層体を支持し、前記太陽光発電積層体の面に対して非平行である面を含む請求項 1 に記載のアセンブリ。

【請求項 8】

前記フレームは、前記骨組部から前記後方フレーム部材を超えて延びる第 2 支持アームを含み、

前記第 2 支持アームには、前記第 1 支持アームの前記第 1 座部と横方向に並び、前記偏向部材の一部分を摩擦係止する座部が形成されている請求項 1 に記載のアセンブリ。

【請求項 9】

前記クリップは、前記後方フレーム部材から突出して保持部分を形成し、

前記偏向部材は、前記第 1 取り付け状態において前記保持部分を係止する大きさに形成された第 1 受容部を前記後面に含む請求項 1 に記載のアセンブリ。

【請求項 10】

前記保持部分は、第 1 外側寸法を持つ自然位置から、前記第 1 外側寸法よりも小さい第 2 外側寸法を持つ偏向位置へと偏向可能であって、

前記保持部分は、前記偏向位置から前記自然位置へと自然に戻るような付勢力を示し、

前記第 1 受容部は、前記第 1 取り付け状態において前記保持部分が前記第 1 受容部に挿入されるときに、前記保持部分を前記偏向位置へと押しやる位置に設けられた少なくとも 1 つの壁部材を含む請求項 9 に記載のアセンブリ。